

本文を読む前に

- ◇ 私たちは、言語以外にどんな方法でコミュニケーションをしていますか。
- ◇ あなたの国と日本とで、意味の違うボディランゲージがありますか。

内容理解

本文を読んで、次の質問に答えてください。

1. 人間は、どのような手段によって、他者とコミュニケーションをしていますか。

- _____
- _____

2. 非言語表現とは、例えばどのようなものですか。

3. 非言語表現は、どのように使われますか。

4. 非言語コミュニケーションを行う時、誤解が生じるのはどうしてですか。

5. 非言語表現の文化による相違について、次の表の空欄を埋めてください。

①	ある民族	
	日 本	
②	中 国	
	日 本	

6. 外国人とのコミュニケーションを円滑にするためにすべきことは何ですか。

クローズテスト

次の□の中に適当なことばを入れて、文章を完成してください。必要なら助詞も忘れずに入れてください。本文と違うことばでもかまいませんが、文章の意味がわかるようにことばを使ってください。

A

非言語表現はコミュニケーションの中で頻繁に□、言語のようには意識的に学習しにくい。したがって、□国や文化の非言語表現に接した□、慣れている自国のものをよりどころにして□ことになる。もちろん、すべてが□異なるわけでもないし、全人類に共通した□たくさんある。しかし、問題は、文化によって、□異なる方法で□場合や、似たような表現が異なる□持っている場合である。

B

習慣的に無意識に□動作は、外国人とのコミュニケーションに少なからず□及ぼし、ときには大きな誤解を□。その上、お互いの非言語コミュニケーションの方法が□ことに気づくのは大変難しい。□学習はもちろん大切であるが、異文化の□学ぶ姿勢もぜひ持たたい□。そうすることで、外国人との□より多元的にとらえられ、相互理解の□もう一歩近づくことが□。

読解練習

下の の中に適当なことばを入れて、本文をまとめてください。

メッセージの伝達的手段

①		[メッセージの %～ %]
②		
	例えば	
	異文化に属する人達にとって	
例)		

外国人とのコミュニケーションにおいて大切なのは、

	だけでなく、	
----------------------	--------	----------------------

ことである。

【解答】

内容理解

1.
 - ・言語
 - ・言語以外の表現方法
2. 身体の動き、顔の表情、距離や空間のとり方など
3. 単独で使われたり、言語と共に使われて相互補完的に、あるいは補助的に使われたりする。
4. 非言語表現は、文化によって、同じことを異なる方法で表現する場合や、似たような表現が異なる意味を持っている場合があるから。
5.

①	ある民族	肯定の表現で、首を横に振る。
	日 本	話し手に対する賛同や「話を聞いていますよ」というサインのため、首を縦に振る。
②	中 国	ごちそうになる時、出された料理を全部食べると料理がまだ足りないという意味になる。
	日 本	ごちそうになる時は、出された料理を残すと失礼だと考えるため、なるべく全部食べるようにする。
6. 言語だけでなく、異文化の非言語表現についても学ぶこと。

クローズテスト

A

非言語表現はコミュニケーションの中で頻繁に 現れていながら、言語のように意識的に学習しにくい。したがって、異なる 国や文化の非言語表現に接した 場合、慣れている自国のものをよりどころにして 解釈する ことになる。もちろん、すべてが 文化によって 異なるわけでもないし、全人類に共通した ものも たくさんある。しかし、問題は、文化によって、同じこと を異なる方法で 表現する 場合や、似たような表現が異なる 意味を 持っている場合である。

B

習慣的に無意識に **行われる** 動作は、外国人とのコミュニケーションに少なからず **影響を** 及ぼし、ときには大きな誤解を **生んでしまう**。その上、お互いの非言語コミュニケーションの方法が **違っている** ことに気づくのは大変難しい。**言語の** 学習はもちろん大切であるが、異文化の **非言語表現について** 学ぶ姿勢もぜひ持たたい **ものである**。そうすることで、外国人との **コミュニケーションが** より多面的にとらえられ、相互理解の **実現に** もう一歩近づくことが **できるだろう**。

読解練習

- ① **言語**
- ② **言語以外の表現** [メッセージの **75%～90%**]

例えば **身体の動き、顔の表情、距離や空間のとり方など**

異文化に属する人達にとって

学校などで意識的に学習することが可能である。

コミュニケーションの中に頻繁に現れていながら、言語のように意識的に学習しにくい。

例)

日本人は聞き手になった時、話し手に対する賛同や、「話を聞いていますよ」というサインのため、よく首を縦に振る。一方、同じ肯定の表現でも首を横に振る国民や民族もいる。

日本人は人にごちそうになる時は出された料理を残すと失礼だと考えて、なるべく全部食べるのがごちそうがおいしかったというメッセージになる。一方、中国で同じことをすると料理がまだ足りないという意味になる。

外国人とのコミュニケーションにおいて大切なのは、

言語の学習 だけでなく、 **異文化の非言語表現についても学ぶ姿勢を持つ**

ことである。